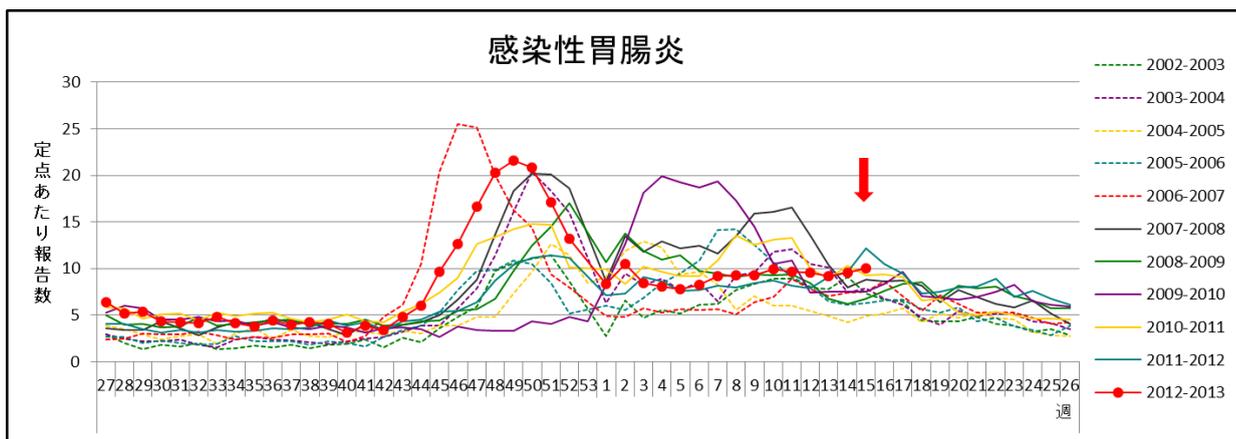


感染性胃腸炎情報 2013 年 第 15 週 (4 月 8 日 ~ 4 月 14 日)

○岡山県内の患者報告数は 539 名 (定点あたり 9.98 人) であり、前週とほぼ同数でした。(54 定点医療機関報告)

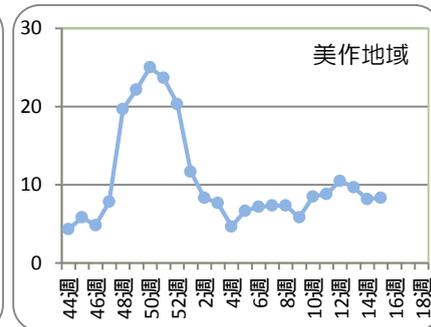
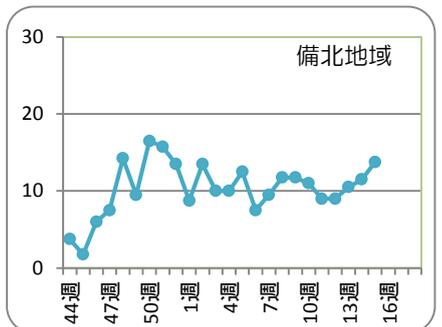
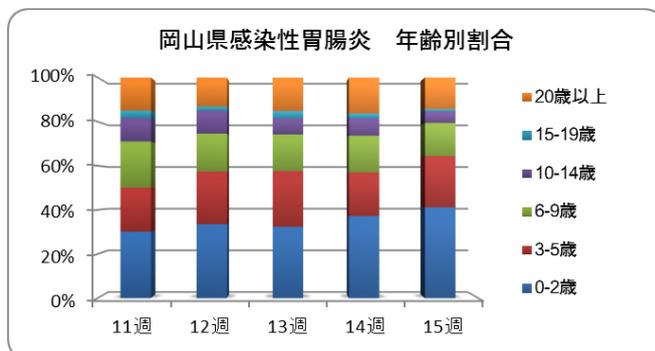


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数で (定点あたり 9.58 → 9.98 人)、第 3 週以降横ばいで推移しています。地域別では、備北地域 (13.75 人)、岡山市 (13.29 人)、倉敷市 (10.36 人) で患者が多くなっています。年齢別では、0~2 歳が全体の 41% を占め、この年齢層の割合が徐々に増加しています。

また例年 3~5 月にかけては、ロタウイルスによる胃腸炎が、0~2 歳の乳幼児を中心に増加するとされていますので、注意が必要です。主な症状は嘔吐と下痢で、ノロウイルスに比べ重症度が高いといわれています。嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。手洗いの徹底や、下痢便・吐物の適切な処理など感染予防と拡大防止に努めてください。

◆地域別・年齢別発生状況

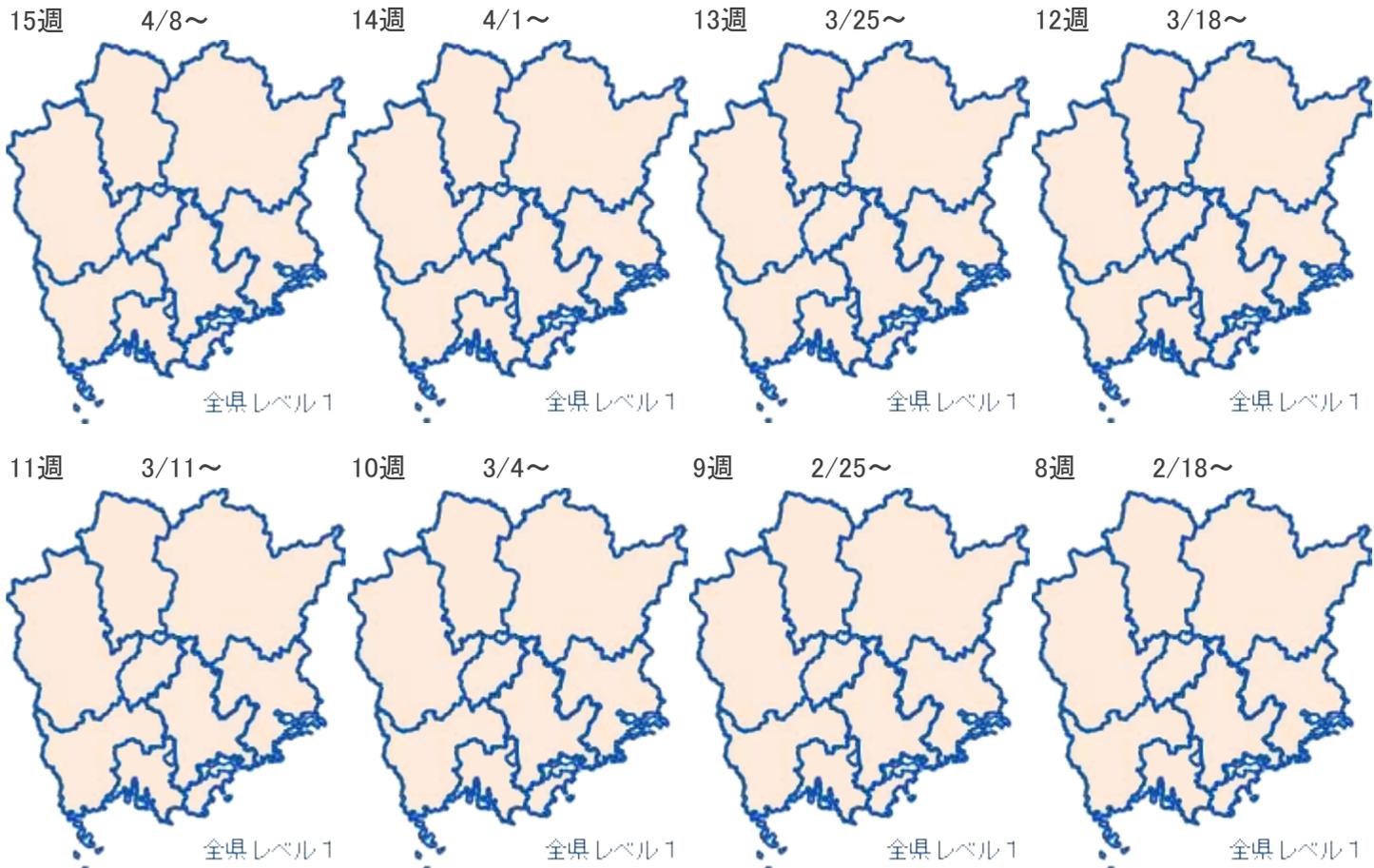




岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2013年 15週

2013年4月19日

11:14:03



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。